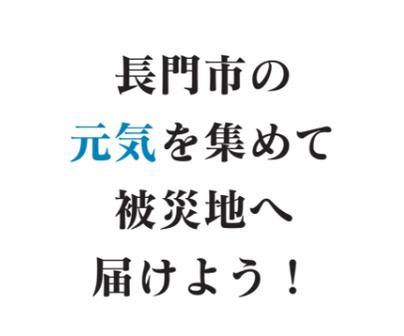


市内に広がる支援の輪 被災地へ届け！僕らの思い



長門市の
元気を集めて
被災地へ
届けよう！

①被災地へ送るメッセージ②チャリティ歌謡会で集まった義援金③ヒップホップダンス愛好会のチャリティライブ④俵山の観光業関係者からの義援金⑤募金コーナー⑥市内から集まった支援物資⑦被災地へのメッセージ⑧薬剤師会からの義援金

市長室で行われた報告会での記念撮影。参加したのは仙崎小学校児童会委員の皆さん。4名の児童のうち、左から國重茉依さん、長谷川美也さん、上本俊也君、南野裕次郎君。

続々と届く義援金

東日本大震災以降、なんとか被災地の人たちの役に立ちたいという、市民の皆さんの思いから多くの義援金が集められ、市役所には連日、たくさん個人・団体から義援金が届けられました。上の写真は3月24日(木)、仙崎小学校から義援金が届けられたときのようにです。仙崎小学校児童会委員の4名が市長室を訪れ、義援金を南野市長に手渡しました。この義援金は、児童会が中心となり仙崎小学校の児童や保護者から集めたもので、141,885円が集まりました。

チャリティライブ開催

3月19日(土)、大震災へのチャリティライブ「PRAY FOR EAST from NAGATO」(長門から東北へ向けて祈ろう)が市内のショッピングセンターで開催されました。これは、長門コミュニティタウン主催、FMアーク共催で地震の被災者を支援しようという開かれたもので、市内のアーティストやヒップホップダンス愛好会、そして今年メジャーデビューを果たした兄弟デュオ「ソルジェンティ」などが協力、ステージで

歌やダンスを披露しながら募金や被災者への応援メッセージを呼びかけました。ステージや会場ではたくさんの人たちが募金に協力したり、応援のメッセージを書き込んだりしていました。集まった募金は日本赤十字社に義援金として届けられました。

被災者支援長門市市民会議の活動状況

3月22日(火)に発足した東北地方太平洋沖地震に係る被災者支援長門市市民会議の活動状況を報告します。

■義援金

震災直後から、義援金の申し出が相次ぎ、市民会議発足以後、多くの市民・団体の皆さんから、直接・間接的に善意ある義援金が寄せられています(4月18日現在)

- ・市役所取扱窓口(日赤) 10,302,999円(84団体他)
 - ・社会福祉協議会(共同募金会) 3,017,723円(30団体他)
- 今後も、より多くの皆さんの善意をよろしく願います

■救援物資

3月18日(金)～23日(水)まで市社会福祉協議会に寄せられた救援物

資は、167件の受け付け、トラック6台分(段ボール箱約500個)にもなりました。早速、県内集積場所の山口県消防学校に運び、県内の物資をまとめて、山口県担当の福島県へ送られました。なお、救援物資については、福島県側の集積場所の確保問題や現地での配送システムの問題等から3月24日(木)以降受付を中断していますのでご了承ください。再度受付を行う場合はあらためてお知らせをします

■職員派遣

- ・3月14日(月)消防本部救急部隊3人を宮城県石巻市に派遣。17日(木)から19日(土)まで119番対応・救急搬送活動を行い、22日(火)に帰庁
- ・3月16日(水)水道課応急給水隊4人を宮城県名取市へ派遣、19日(土)から26日(土)まで給水活動を行い、28日(月)に帰庁
- ・4月22日(金)から29日(金)まで保健師1名東松島市に派遣

被災者の受入れ 3月下旬から4月上旬にかけて、被災地から5世帯23人が長門市へ避難されました。こうした被災者の方々は、市営住宅の紹介や水道・下水道料金の減免など、様々な支援を行います。くわしくは、

災害見舞金・生活一時金

同会議に寄せられた義援金の範囲内で、次のいずれかに該当する被災世帯に対し、支給します。

- ・災害救助法適用地域(以下「被災地域」)からの転入者で罹災証明の交付を受けている世帯
- ・罹災証明がない場合でも、被災地域で居住家屋が半壊以上で居住できなくなったことが認められる世帯
- ・福島原発事故に伴い避難措置、屋内退避などの指示により居住できなくなった世帯
- ・その他市民会議本部長が必要と認めた世帯

■支給金額

- ・住民票異動(転入)をした世帯 1世帯10万円
 - ・一時避難世帯 1世帯3万円
- 問い合わせ 福祉課福祉係
Tel 23-1245